



三次中央会報

ロータリークラブ

2018-2019 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

事務所/広島県三次市十日市東 1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mrcr.server-shared.com

例会場/広島県三次市十日市南 1-5-5
グランラッセー三次2F

例会日/月曜日 12:30~13:30

会長/角谷俊典

幹事/栗本清秀

●2018~19年度 国際ロータリーのテーマ



インスピレーションになる

●2018~2019年度 三次中央RCスローガン

広げよう ロータリーの心
増やそう ロータリーの友

- 本日のプログラム ゲスト講演/職業奉仕委員会
広島県議会議員 下森宏昭様
- 次回例会日時 2019年2月18日(月) 12:30~
- 次回プログラム 会員卓話/親睦委員会

■第1249回例会記録

- 日時.....2019年1月28日(月)12:30~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ロータリーソング「我等の生業」.....全員
- ゲスト紹介
三次市長 増田和俊様

■開会挨拶.....角谷会長

大坂なおみ選手の快挙に拍手

みなさん、こんにちは。

本日はプログラム委員会担当で、ゲストに三次市長 増田和俊様をお迎えしております。お忙しい中をお越しいただきまして、誠にありがとうございます。今後の三次市についてのお話をお聞きできるかと思えます。後ほど、よろしく願いいたします。

さて、皆さんもご存知のように一昨日、プロテニスプレーヤーの大坂なおみさんが昨年の全米オープンに続き全豪オープンシングルスに優勝しました。4大会で2連勝という快挙を達成し、世界ランキング1位にもなりました。ゴルフでいうと、4大メジャーに2連勝ですよ。

今日はお話です。私もテレビで見えておりましたが、男性顔負けのプレーを数々見せてくれましたが、ちょっとモノが違うなと感じました。彼女は日本人の母親とハイチ系アメリカ人の父親を持ち、大阪で生まれ、3歳のとき、アメリカに移りました。日本とアメリカの2つの国籍を持っていますが、選手登録は日本人として登録しています。

今までは試合中、ここぞというところでメンタルの弱さが出て、今一步のところで負けていましたが、肉体改造と精神面の強化を行い、見事この偉業を成し遂げました。彼女のスピーチもとても謙虚で、日本人の思いやりの心を感じさせてくれます。そんなとこ

ろが日本、アメリカに限らず世界に多くのファンができた理由と感じます。

全米オープン優勝後はスポンサーも彼女の調整に気遣ってイベントを縮小したりしたそうです。彼女はテニスに詳しくない人も含め、多くの人々に夢と希望と感動を与えてくれました。もし彼女がロータリアンならまさに素晴らしい職業奉仕と言えるのではないのでしょうか。

会場に飾っていただいた花は、小根森会員が、「市長をお迎えして」と題して生けてくださいました。ごゆっくりご鑑賞ください。小根森会員、ありがとうございました。



■小根森会員作「市長をお迎えして」

■ロータリー財団表彰



角谷会長 ベネファクター、
平田博紀会員 マルチプルボールハリスフェロー4回目
安藤会員 マルチプルボールハリスフェロー3回目

■幹事報告

- 次週2月4日は、職業奉仕委員会担当例会の食事はカレーです。グランラセーレにて、19時より第8回理事役員会を開催します。
- 米山奨学会とロータリー財団に寄付された方に領収書を配布致します。
- 前回出席報告、ロータリーの友誌の読みどころは会報にて報告しています。
- 安藤会員「ふれあい」を配布しています。

■出席報告

第1247回 12月17日

会員数	41名	Make-up	0名
欠席	2名	出席合計	39名
出席率	2名	出席率	100%

●第1249回 本日の出席は41名中38名です。

■SAA

●会員誕生日



沖土居君、大前君、中島清祐君、高野君

●会員ニコニコBOXご出宝

ニコニコBOX本日出宝額 57,000円



▲中島諭会員に贈られた感謝状

感謝状

この度、2018年10月27日にダムロンラートソククロ学校で開催された日本文化活動イベント第11回「JAPAN DAY」にご奉仕をいただきありがとうございます。子どもたちの日本文化理解に役立たせていただきます。

本日はプログラム委員会担当例会です。お忙しい中、増田三次市長にお越しいただきました。色々なお話が聞けると楽しみにしております。よろしく申し上げます。
鈴木崇可プログラム委員長

市政を語る

「しあわせを 実感しながら 住み続けたいまち」

三次市長 増田 和俊



本日は三次中央ロータリークラブの例会にお招きいただき、ありがとうございます。

平素は市政にご理解、ご協力いただき、心より感謝申し上げます。新しい年を迎え、改めてこの一年の皆様のご健勝とご隆盛、ご繁栄を心からご祈念申し上げます。

このような場を作っていただくことが行政として情報を発信できるよい機会だとありがたく思っています。

では、三次市の市政について、「三次市のまちづくり」、「平成31年の市政」をお話いたします。

[三次市のまちづくり]

1 拠点性と利便性を生かした都市機能の集積

- ・「縦軸」と「横軸」の2つの高速道路が交差する拠点性と利便性を生かしたまちづくり
- ・広域道路網、情報ネットワーク、美術館、市民ホールなど、都市機能を担う社会基盤整備を推進

2 生活最優先の市政の推進

- ・整備した都市機能を市民全体の財産として、子育て、教育、医療、福祉、定住対策、生活基盤整備といった「生活最優先」の市政を推進

3 地域の拠点づくり

- ・住民自治組織を中心とした意欲的な取組を支援
- ・各地域の特性に応じた地域の拠点づくりを推進
(甲奴健康づくりセンター「ゆげんき」、川西「郷の駅」など)

[平成31年の市政]

1 「復旧・復興の年」～災害に強いまちづくり～

平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興

- ・総額約70億円の予算を計上
- ・浸水被害の防止のため、徹底した内水排除対策を実施

- ・大規模災害の重点課題に対応

2 「未来を拓く年」

- ・県立中高一貫教育校の開校
- ・「三次もののけミュージアム」のオープン
- ・第2次三次市総合計画の見直し
- ・中心市街地の変革
- ・5つの拠点創造プロジェクト
 - ①県立中高一貫教育校の誘致
 - ②三次まるごと博物館事業
 - ③(仮称)みよしアグリパーク整備事業
 - ④新たな産業団地の確保
 - ⑤種鶏場跡地整備事業

最後に、行政というのは企業と同じようにやはり経営です。将来を見据えてどうまちづくりをするかどう財政運営をするかということが自治体に求められているなかで、しっかり財政運営ができていますことをお伝えして締めくらせていただきます。本日はありがとうございました。

■謝辞.....角谷会長

■点鐘.....角谷会長



三和町矢原遺跡出土「鹿の絵のある土器」について

寄稿：元廣 修 会員

今から約50年前三和町の県道三和大和線沿いの矢原遺跡で弥生時代の鹿の絵が描かれた土器が発見されました。(弥生中期塩町式土器：脚付注口鉢型土器) 発見したのは私の2学年下の今谷俊幸君で当時小学生でした。大きなニュースとなって報じられました。

私は中学生でしたが、このニュースに触発されて、近所の悪ガキたちと古墳探しに夢中になりました。三和町も三次市内と同様に古墳が多く点在し、我が家の裏山には5つの古墳があり、いずれも盗掘されたものでしたが、古墳の下手には多くの土器の破片が出土して、2～30個集めて学校(現在比治山学園からまつ学寮)に持ち込んだりしました。地域の老人に聞くと、私の住んでいる所は、字名が伊津賀(いづか)で別名五つ塚(いつつづか⇒いづか)であることもわかりました。昭和の初めに盗掘ブームがあり、一番大きな古墳からは朱塗りの土器が出土して、水路で洗ったら赤い水が流れたとの言い伝えがあると聞きました。

私たち悪ガキ探検隊は山々を古墳探しに歩き、とうとう未発掘と思われる古墳を発見しました。そして、近所の佐藤月二広島大学教授へ興奮気味に話しました。佐藤教授は大学の考古学教室の方と発掘に来られました。私たちもスコップをもって発掘に加わりましたが、残念ながら盗掘された後のものでした。その後も飽きもせず探検し、採石場から矢じりや石斧などを見つけましたが、全て佐藤教授経由で広島大学へ持って帰られました。

なお、鹿の絵のある土器は、旧三次市教育委員会で復元され、広島県へ渡りました。三和町役場の職員になった時に、三和町の貴重な財産をどうして他の自治体に取られたのかと抗議しましたが、三和町には考古学の部署も研究者もいなかったため、三次市や広島県に委ねたとのことでした。

今でも古代へのロマンは忘れられず、時々、比治山学園の生徒さんや古墳見学の方を案内しています。また、近くの休耕田の石垣の下に古墳があるのを私だけが知っています。誰も信用してくれませんが、いつか盗掘して名を残したいと狙っています。

写真：三次市の成人式でかつて記念品として配られた2種類の青銅製文鎮



▲：発見された土器全体を型どった文鎮

9cm (ほぼ実物大)



▲鹿の描かれた部分のみで作られた文鎮
(実物の絵のサイズと同じ9cmのサイズ)

写真：和田ひとみ会員